

2006/10/28

第1回市民会議
オリエンテーション資料

なごや循環型社会・しみん提案会議 の開催にあたって

なごや循環型社会・しみん提案会議
実行委員会

1

1. 本日のねらいとプログラム

本日は、

- **参加者同士、
良く知って頂きます。**
- **参加型会議について、
理解して頂きます。**
(趣旨・経緯・目的など)

の2つを目的に実施します。

本日のプログラムは、

開会13:30

13:30～13:35	開催にあたっての確認など
13:35～13:55	主催者挨拶
13:55～14:20	自己紹介(班別)
14:20～14:55	休憩
14:55～15:30	市民会議の開催についての説明
15:30～15:50	会議のルールについての説明
15:50～16:05	次回以降についてのご案内
16:05～16:10	閉会挨拶

閉会16:10

です。

2

2. なぜ、市民参加が必要なのか？

2.1 名古屋市・第4次一般廃棄物処理基本計画を考える

1. 適正処理(第1次計画)

- 処分が前提、増大するごみ…対策は市の仕事
 <藤前干潟埋立撤回、非常事態宣言>
 行政・市民の危機感の共有

2. 減量化・リサイクルの推進(第2次、第3次計画)

- ごみ排出減少・埋立減少を目標、
- 市の施策変更と市民の協力・自主的取組
- 減量化の成果

3. 循環型社会に向けての更なる取組(第4次計画)

- 目指すべき循環型社会の目標は何か？
- 市民間での共有
- その実現のために何をすべきか
- 全ての主体の取組への積極的な参画(パートナーシップの構築)

2. なぜ、市民参加が必要なのか？

2.2 ごみ問題解決に向けての取組姿勢の大きな変化

● 従来

- 行政や専門家の科学的知識や経験に基づいた対策
- 市民は協力する立場、又は陳情・反対運動

● 現在及び今後：循環型社会づくり

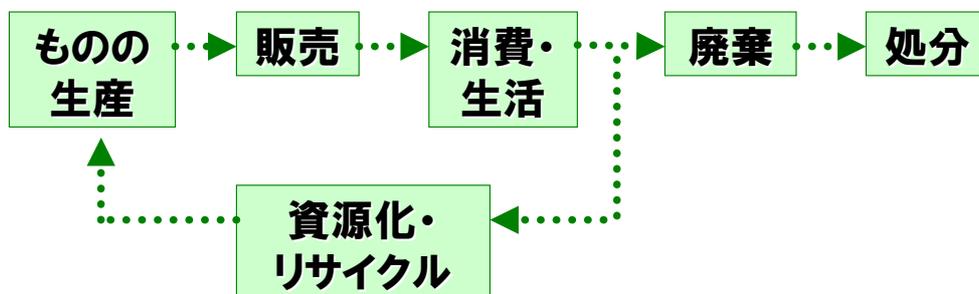
- ごみから、私たちが営んでいる社会や経済にまで視野を広げ、社会のあり方・経済の仕組みも含め、循環型社会に向けて取り組み目標を定め実践していく努力



名古屋の社会を構成する全ての構成員による取組への積極的な参加が非常に大切

2. なぜ、市民参加が必要なのか？

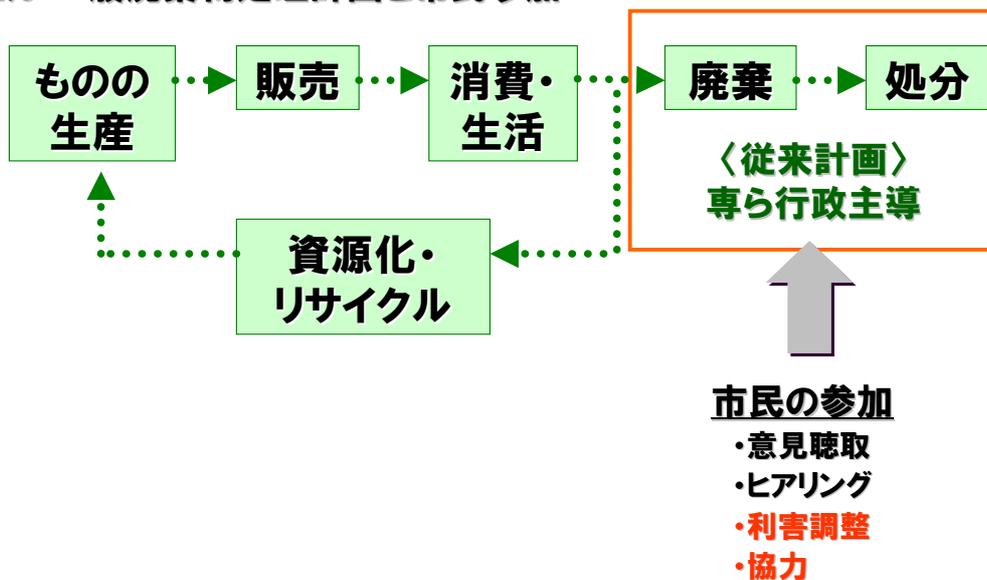
2.4 物質の循環・ごみの排出・処理の流れ



5

2. なぜ、市民参加が必要なのか？

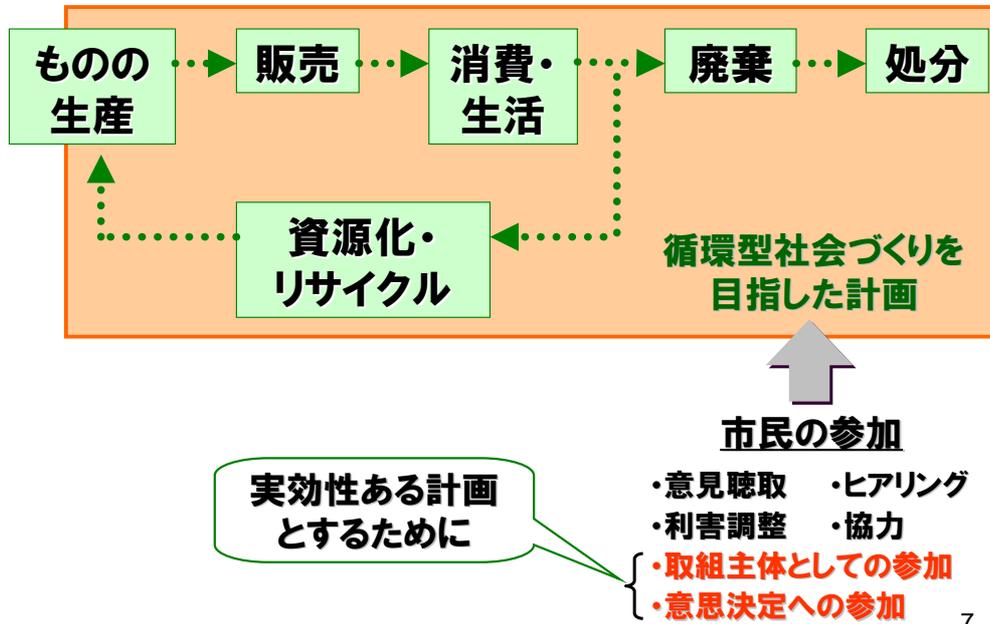
2.5 一般廃棄物処理計画と市民参加



6

2. なぜ、市民参加が必要なのか？

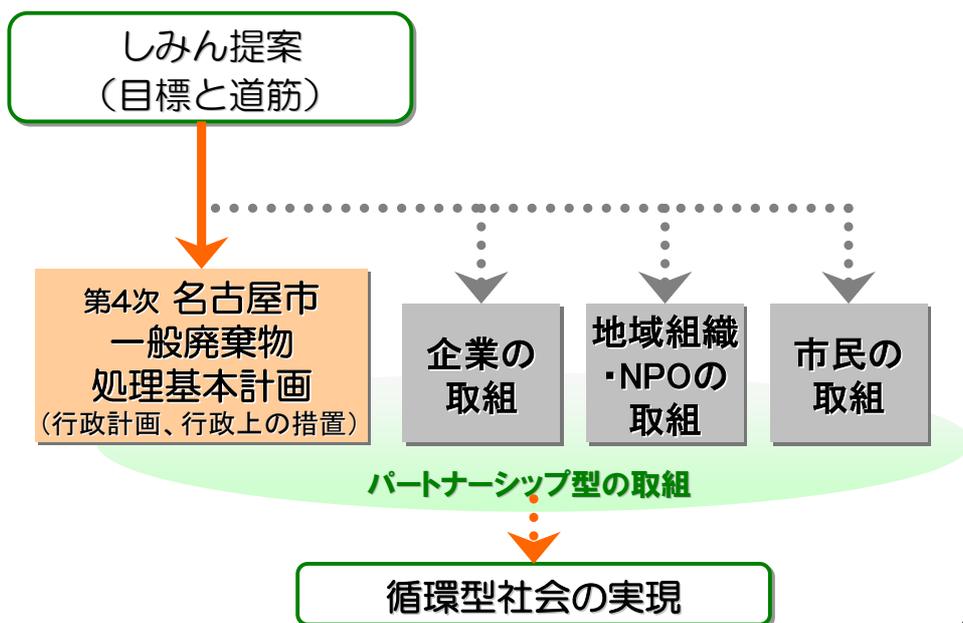
2.6 循環型社会づくりと市民参加



7

3. しみん提案について

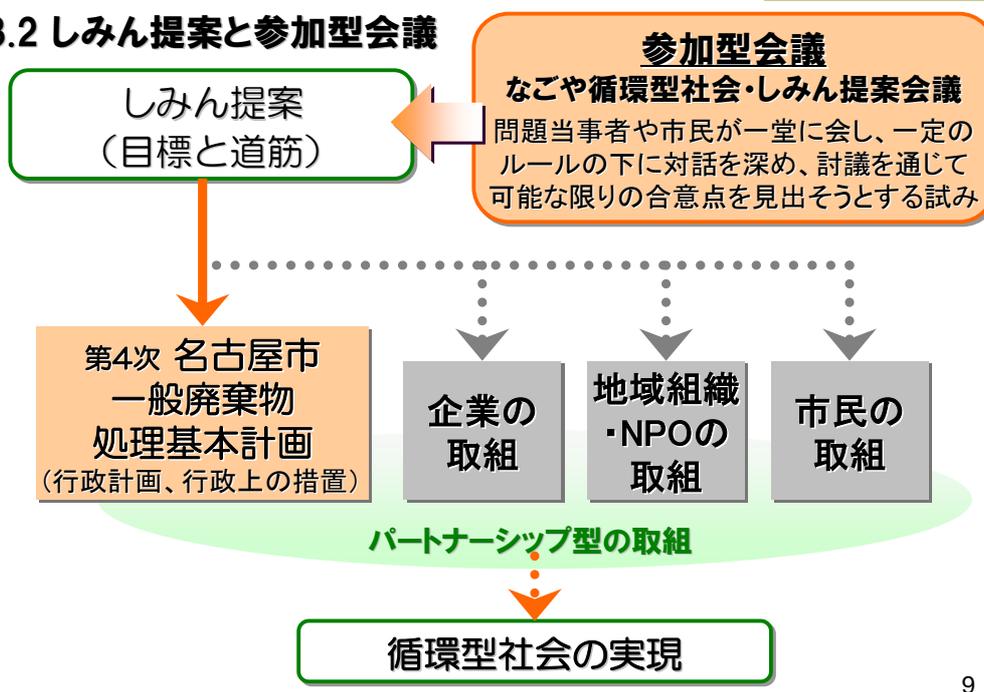
3.1 しみん提案の役割



8

3. しみん提案について

3.2 しみん提案と参加型会議



9

4. しみん提案会議全体のねらい

なごやの社会を構成する全ての構成員である事業者、NPO、市民、行政等の「しみん」が、なごやが目指すべき循環型社会の**目標**と実現のための**道筋**について、情報を共有し、議論を深め、**出来る限りの合意点**を見出し、ビジョンとして取りまとめ、「しみん提案」として発信することを最終的なゴールとします。



目標とは…

15～20年の将来を展望し、
名古屋において実現したい循環型社会の姿
を指します。



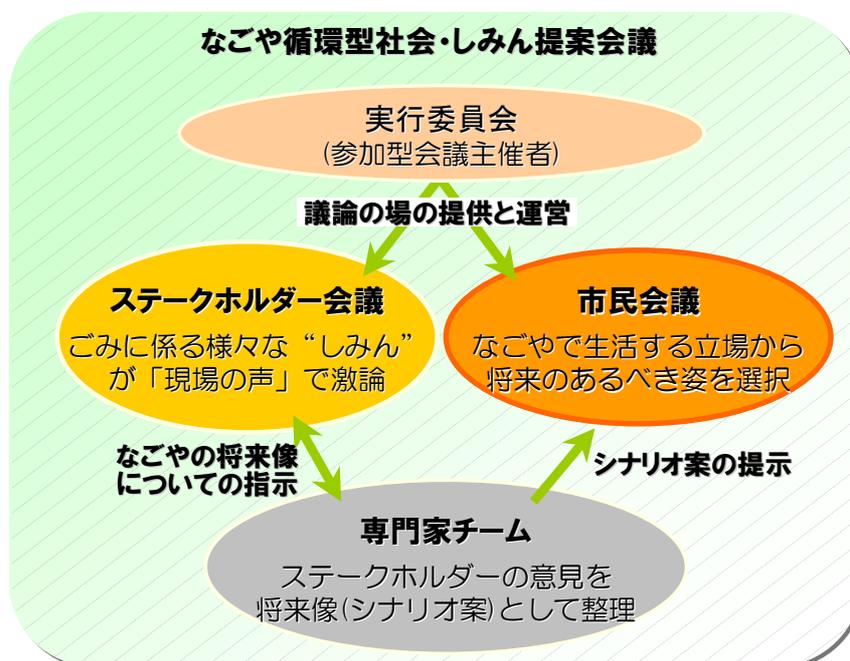
道筋とは… 目指すべき目標について、

- 何をすべきか
- 役割分担はどうするか
- 解決すべき課題は何か

などをとりまとめたものを指します。

10

5. しみん提案会議の体制について



11

6. しみん提案会議の体制について

6.1 実行委員会について

実行委員会とは...

参加型会議の主催者として、参加型会議の**企画・運営**などを担います。

経緯①

名古屋大学を中心に、参加型会議を研究(社会実験)
「市民が創る循環型社会フォーラム」が開催(H15-17)

経緯②

名古屋市長からの依頼を受け、専門家やNPO代表者を中心に、
市民の主体的な参加による「循環型社会なごや」を提案するための構想を練る。

経緯③

構想実現にむけ、地域役員・団体、事業者、専門家、行政などにより、
「なごや循環型社会・しみん提案会議実行委員会」を設置(委員数16名)

12

7.しみん提案会議の体制について

7.2 ステークホルダー会議について

ステークホルダーとは…

ある問題に対して、何らかの関わりを持つ当事者

ごみ問題について言えば、

- ・ごみになる製品を生産する企業
- ・製品を購入しごみを出す生活者
- ・ごみを処理する事業者
- ・ごみ処理計画を策定する行政

などが該当します。

ステークホルダー会議

- 24名の“しみん”で構成
- 9/23から活動をスタート
- 15～20年後の名古屋における循環型社会についての議論を展開中

13

8. 市民会議について

市民とは…

なごや循環型社会
・しみん提案会議
における

“市民会議”の主役
となる皆様です。

市民会議は、次のような手順で結成されました。

7月末●名古屋市によるアンケート調査

- ・対象： 4,000名の市民(無作為抽出)
- ・回答数：1,231名
うち**136名**が、「参加型会議への関心」を示して頂く。

8月末●参加意向に関するアンケート調査

- ・対象： **上記の136名**
- ・回答数： **95名**
うち**55名**より、「会議への参加意思」を示して頂く。

電話による参加依頼(事務局)

- ※会議開催予定日のご都合を確認
- ※性別・年齢・居住区などをバランス

本日●市民会議の発足

- ・参加者数：**34名**

14

9. 第1回市民会議（本日）を迎えるにあたって

班の編成にあたって

次に示す考えのもと、予め、4つの班を組ませて頂きました。

- **円滑な議論、参加者それぞれの発言機会の確保、などを考慮し、1班あたり8～9名程度が適当と考えました。**
- **各班の編成については、性別・年齢・居住区などのバランスを考慮しています。**
- **各班のメンバーは、お手元の「別紙2」をご覧ください。**